

特別養護老人ホーム
サンライフ御立
QCサークル「ASK」

発表のテーマは「特別養護老人ホーム入居者様の事故の減少」。テーマ設定の理由は、以前よりも認知症度・要介護度ともに重度になつており、職員人数も減少している為、以前の事故対応では、対応しきれなくなっている事や、職員のヒヤリハットや事故意識が低く、発生原因に対して具体的な対策がとれていないことから、職員全体の意識を高め、より安心・安全な生活を提供できるようになりたいと思い決定しました。

六月から八月の事故数を調べると、ショートステイは、特養の三分の一以下の定員であるにもかかわらず事故の割合が多く、また、特養は、八月にフロアの場所を変更しました。

六月～八月の事故発生者数一ヶ月二十九件
一月～三月事故発生者数一ヶ月十七件
月の十七件となり目標達成!



支部長賞を受賞
主催：QCサークル近畿支部
栄誉ある賞を頂きました！！

おかげ様で本誌は今号で第百号を迎えました。平成八年十一月の創刊から足かけ二十二年。皆様のご支援、ご協力に心から御礼申し上げます。今後も一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会より

サンライフ御立 デイサービス お正月イベント



播磨のかかしの里



ささゆり会事業報告

法人本部

十月 第八回理事会

十一月 第九回理事会

十二月 第十回理事会

十三月 第十一回理事会

十四月 サンライフ御立

十五月 電気設備点検

十六月 第二回HCC（播磨介護技術競技大会）

十七月 サンライフ御立クリスマス会

十八月 サンライフ土山

十九月 JICA視察受入

二十月 排煙設備点検

二十一月 消防訓練

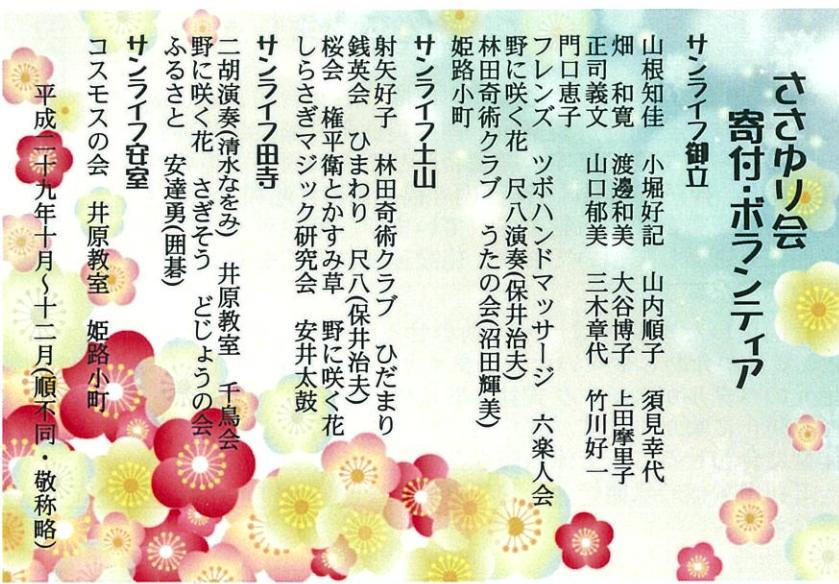
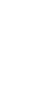
二十二月 サンライフひろみね

二十三月 運営推進会議

二十四月 サンライフ田寺

二十五月 消防訓練

二十六月 消防設備点検



ささゆり

平成30年2月
 第100号
 年4回発行

With all our hearts

お陰様でささゆり新聞は 平成30年2月で通巻100号を 迎えることが出来ました！

播磨介護技術競技大会 【HCC】

★Pick Up★
 ●播磨介護技術競技大会「HCC」
 ●ささゆり会「事業報告」「寄付・ボランティア」

☆ 総合福祉施設 社会福祉法人 ささゆり会

サンライフ御立

〒670-0072

姫路市御立東5丁目1番1号

TEL/079-291-6666 FAX/079-291-6667

施設長 笹山 博司

サンライフ魚崎

〒658-0083

神戸市東灘区魚崎中町4丁目10番50号

TEL/078-435-6688 FAX/078-435-6689

施設長 佐藤 光子

第3回 播磨介護技術競技大会(HCC)

平成29年10月28日(土)播磨介護技術競技大会(HCC)を開催致しました。第3回目となる今回は、「排泄部門」「食事介助部門」「認知症部門」「緊急時対応部門」の4部門で合計45名の選手の方々が介護技術を競い合いました。

競技が始まる前の緊張した表情と、競技が終わった後の安堵の表情がとても印象的でした。

競技内容は多種多様で、各選手の方々は課題の内容を懸命に考え、それにふさわしい対応に工夫をこらす様子が伝わってきました。大会の結果に関係なく、介護技術について考え、更なる技術向上に取り組む機会にもなり、とても意義のある大会になったと思います。

ベトナムから来日したEPA候補生も初参加しました！

今回の播磨介護技術大会では、EPA候補生の特別養護老人ホームサンライフ御立で現在も頑張って働いているフンティトゥイチーさんが初めて出場しました。

初めての大会に緊張しながらも認知症部門で最後まで精一杯学んできましたことを出し切っていました。「現場での対応と違ってHCCの認知症部門の試験が思ったようにいかず難しかったです。しかし、優しい先輩方にいろいろアドバイスを頂き、落ち着いて試験に臨むことが出来ました。」と笑顔で答えています。

安室職員の皆様、利用者様の協力があり、いい結果が残せて感謝しています。更に上を目指し業務に取り組みたいです。(中野)



会場風景



最優秀賞 受賞者

<排泄部門>

社会福祉法人 ささゆり会
サンライフ安室
中野 和美 さん

<認知症部門>

社会福祉法人 ささゆり会
サンライフ田寺
矢田 彩香 さん

<食事部門>

社会福祉法人 ささゆり会
サンライフ西

三木 寧々 さん

<緊急時対応部門>

社会福祉法人 ささゆり会
サンライフひろみね

鈴木 建司 さん

木村 友紀 さん

HCCに参加し、最優秀賞を受賞することが出来たことをとても嬉しく思います。利用者様に満足して頂けるよう努力していくたいと思います。(矢田)

第3回HCCの緊急時の対応部門に参加させて頂き、他の職員との連携・迅速な対応・行動などの大きさを改めて痛感させられました。又、看護師に練習風景を見て頂き、AEDの使い方や心肺蘇生法についてのアドバイスを受けたのが、勉強になりました。これからは、HCCで学んだ事を活かしていきたいです。(鈴木)

「緊急時の対応」という緊迫した場面であり、マニュアルに沿った対応を心掛け、また2人でしっかりと息を合わせ、協力することに注意しました。同僚や上司に協力を依頼し、相談しながら、2人で練習を重ねた結果です。素敵な賞を頂き、ありがとうございました。(木村)



ディサービスサンライフ御立 「トラスト」QCサークル活動

私たちサンライフ御立ディサービスサークル「トラスト」は、平成29年7月から9か月間にわたり、QCサークル活動を行いました。



魚崎TOPIX

株式会社神戸製鋼所様から ご寄贈を頂きました

平成29年12月22月に施設に車椅子が2台届きました。これは、株式会社神戸製鋼所・神戸製鉄所 職長会及び有志一同様からの寄贈品です。職長会及び有志一同様は地域福祉向上の為、神戸市東灘区・灘区内の福祉施設に昭和53年から毎年備品を寄贈する活動をされています。サンライフ魚崎は以前にも寄贈して頂いており、施設運営にとてもお力添えを頂いております。

今回頂いた車椅子は自分で動かせる用にタイヤが大きく作られた自走式タイプと、職員が介助しやすいようにタイヤが小さく作られた介助式の2種類です。また、足元のペダルがスイング式且つ取り外しができ、肘付きも外せることから移乗時の怪我防止に繋がります。さらに、肘付きの高さを調節できることからご利用者様の体型に合わせることで体の傾きを補正できます。

ご利用者様の状態に合わせて車椅子を使い分け、今後も安心安全な介助に務めて参ります。

